

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
特別活動論	講義	1	中西 一成

【ディプロマポリシーとの関連】

<認知的領域(知識・理解・思考・判断)>

4. 自ら設定した課題について、保育学・教育学・心理学・社会学などの研究方法を用いて考察することができる。

<技能・活動的領域(技能)>

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

教科学習や道徳科、総合的な学習の時間などの領域で得た学習内容を活かし実践する学ぶ領域が特別活動である。特別活動は児童が積極的に行う場面が多いが場当たりのなものではなく、指導者の計画性や実践力で大きな成果を上げることができる。学習指導要領の改訂に沿い、主体的で対話的で深い学びを培う教育実践を展開できるように、「特別活動」の内容や特質を理解し、家庭地域や専門機関と連携した実践力を養う。

【授業の概要】

テキストを主資料にしながら、授業時に配布するレジュメを元に学習活動を展開する。主体的に学ぶことを大切に、グループ討議やロールプレイを活用し対話的な深まりを学びの中心におく。授業力を身につけることを目指すため、模擬授業の形式を取り入れる。また、視聴覚教材を使って具体的な先進事例を紹介する。

【全体の授業計画・内容】

1 小学校教育過程における特別活動の位置づけとその主な内容と役割を理解する。

事前学修課題: 小学校学習指導要領解説 特別活動編の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

2 新学習指導要領における特別活動の目標とその主な活動別のねらいを理解する。

事前学修課題: 小学校学習指導要領解説 特別活動編の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

3 学級活動の内容とその特質を活かした指導を考える。

事前学修課題: 「特別活動の教育技術」の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

4 児童会活動の内容とその特質を活かした指導を考える。

事前学修課題: 小学校学習指導要領解説 特別活動編の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

5 学校行事の内容を理解し、その目的に応じた指導を考える。

事前学修課題: 小学校学習指導要領解説 特別活動編の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

6 クラブ活動の内容とその特徴を活かした指導を考える。

事前学修課題: 小学校学習指導要領解説 特別活動編の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

7 いじめを生まない集団づくりを考える。

事前学修課題: 「特別活動の教育技術」の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

8 特別活動における家庭・地域・関係機関との連携のあり方を考える。

事前学修課題:「特別活動の教育技術」の該当箇所を読む【0.5 時間】

事後学修課題: 配付された資料を各自でまとめ理解する【0.5 時間】

一斉試験

【学習のあり方】

予習は、前時に配布する資料があるときは必ず熟読しておくこと。主資料の該当箇所を通読しておく。

授業時は、講義に集中し、積極的に授業参加し当事者としての自覚を深め、授業内容をまとめ記録する。

復習は、教壇に立って授業することを想定し、時事ニュース等から専門領域の知見を広げる。一斉試験で問う。

【成績評価】

授業参加態度(15%)、中間レポート(15%)、到達度確認テスト(70%)

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

レポートに対するコメントを付ける。

授業後に個別の質問にきてください。紙面でのやり取りで指導します。

【テキスト】

文部科学省「小学校学習指導要領解説 特別活動編」

文部科学省教科調査官 杉田洋著「特別活動の教育技術」小学館

【参考文献】

有村久春編著「小学校教育過程実践講座 特別活動」ぎょうせい

【実務経験の有無】